

# 新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 遠藤家之進正和  
新潟県山岳協会  
新潟市南区鷺ノ木新田1049  
TEL 025-362-5004

事務局 諏訪恵一  
長岡市高畑町610-10  
TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集  
委員会代表 浅野亘寛  
TEL 0258-52-3998



老山II峰の頂上に立つ

## 未踏峰P5656mの登頂に成功 ↓老山II峰と命名↓

新潟県山岳協会・中国青海省登山協会兄弟協定15周年記念登山として計画された崑崙山支脈の未踏峰P5656mの登頂に成功した。7月19日(8月2日の15日間の日程で計画された遠征の期間中の現地では20年振りの悪天つづきのところへ台風の影響もあって、雨、みぞれ、強風に悩まされ

た。7月20日西寧を四台の四輪駆動車に分乗して長驅ゴルムドに向けて出発した。青海湖で一泊、死の砂漠をおもわせる荒涼としたツアダム盆地を走りながら順次高度順化をして行き、21日夕方ゴルムドへ着く。7月22日は4150mのシュータータンの招待所で休養、軽い散歩などで高度順化をはかる。

夜間、高度障害で体調をくずす隊員も出始める。やや好天に恵まれたのはここまでは、7月23日はトントーターンから少し増水した河を四輪駆動車で渡渉して予定地、4250mにベースキャンプを設置。24日以降の天候に期待出来なく、ABC用のテントが3人用2張りと限定された



5600m付近からの頂上

ため、一次隊と二次隊に分けてアタックする事となる。24日は全員で4800mのABC設営予定地に荷上と設営を完了。一次アタック隊はABCにそのまま残留して、鈴木隊員と佐久間隊員は偵察とルート工作のためフィックスロープ200m×2など必要装備を担いで出発した。夜になるとテントを雨がたたき、交信ではBCも荒れているとの事だ。25日は7時、小雨の中を出発する。増水気味の氷河末端の河を渡渉して、そのまま氷河上を流れる小川と足元の青氷に気を付けながらの氷河登攀となる。上部の膝下までもぐる軟雪に苦しみながら、堅雪の張り付いた岩稜と雪稜の稜線に出る。12分、5613m地点の岩頭に着くがアップダウンがまだつづく。佐久間、井口両隊員が先に出発、佐久間隊員と行動を共にしていた山田隊員は佐久間隊員の登頂後、残置のロープなど回収するため岩頭

に残る事になる。2分40分頂上が見える地点に到達。岩稜のつづいたあと最後の雪稜が頂上へのびているのと頂上にかけての雪庇が確認できる。佐久間、井口隊員は2分55分登頂。仁部隊員がそれにつづき、先に下山する佐久間隊員とすれちがった鈴木隊員、浅野隊員が3分42分登頂した。頂上で待機してきてくれた、井口、仁部隊員と雪庇に注意しながら記念撮影をする。BCから見るドームを思わせる山容と違って狭い山頂が緊張



感をもたらす。残念なことはガスの為ほとんど展望がきかなかつた事だ。青空などほとんど見ることの出来ない中の登山活動となったが残念なこと、以降悪天がつづき二次隊は上部河川の増水がひどく、土石流の危険やルート崩落にはばまれ、予備日数ぎりぎりまで粘った末の登頂中止決定となった。

◆登頂隊員  
佐久間雅義（下越山岳会）  
井口光利（見附山岳会）

仁部哲雄（新潟山岳会）  
鈴木勝利（新潟山岳会）  
浅野亘寛（朝路の会）

登頂後 P5656mは老山II峰（ラウシャン・アーフ）と命名した。この一帯を地域研究の対照として新新潟山岳協会が老山I峰について初登頂した山で、想いのこもった命名だ。「老」は経験豊かで尊敬され卓越した大きな存在の意がある。

記録詳細は次号掲載の予定  
会報編集 浅野

### 第29回北信越国体山岳競技会開催される

県勢の活躍光る！ 成年女子総合1位  
少年女子総合2位で国体出場権を得る

7月26日(土)～27日(日)の日程で、妙高市原通70の国際アウトドア専門学校内のクライミングウオールで、第29回北信越国体山岳競技会が開催された。日程としては7月26日、

開会式の後成年女子・少年男子・少年女子ともにリード競技が行われ、27日にボルダリング競技が行われた結果、先に出場が決定している成年男子につづいて見事成年女子が

チーム順位総合1位、少年女子がチーム順位総合2位で本国体出場を決めた。少年男子は残念ながら出場権を得ることが出来なかった。

成年女子チーム順位総合1位  
片桐麻由子・瀧澤倫未

少年女子チーム順位総合2位  
五十嵐妹子・塚本菜々香

詳細は後報でお知らせします。

### 安全登山講習会に参加して

桜井ヤウ（長岡ハイキングクラブ）

梅雨の最中にもかかわらず、気温が30度を上回る7月13日に県山協の安全登山講習会に参加させて頂いた。会場は三条市大崎公園、グリーンスポーツセンター体育館で、9時から16時まで参加者51名にて行われた。

内容は、①県警本部地域課 玉木二郎氏による「新潟県における山岳遭難の実態と今後の課題」と題して山岳遭難実態、事例や安全登山のすすめ方を1時間半にわたり講演して頂いた。登山届けの提出の重要性、単独登山の危険性、中高年の遭難発生状況が全体の80%を占め、下山時に60%発生等々貴重な講演を聞かせて頂いた。山を知り自分を知り、自らの判断と責任において行動しなければならぬいとお言葉がとても心に響きました。②基本的な装備について ウェア、行動用具、宿泊用具、生活用具、緊急対策用具といろいろな面から装備の知識や工夫をアドバイスして頂く。講師のお話は装備の再点検となりとても参考に

なり自分のなかで気づいた所は実行したいと思えました。道迷いを防ぐためにも原因やGPSの活用についてお話頂きました。道迷いに早く気づくには地形を頭に入れておく事の重要性を再認識させて頂きました。

午後からは、④シルバークンパス（方位磁石）と色鉛筆を使い磁北線の引き方と目的地の方向確認を実習し尾根、谷、等高線を読み地形の予測、効率的なベース配分、道迷いに早く気付く、山の難易度がつかめる等、読図の必要性を教えて頂きました。⑤山での怪我、病気に対する処置を熱中症、骨折、動物にかまれた

最後に企画、準備して頂いた県山協の役員の方々に感謝いたします。ありがとうございました。



講演する玉木講師



講習会風景



# 平成20年度岩登り講習会に参加して

◆板垣 喜和子

(新発田山岳会)

前日から風邪気味の私はティッシュ箱を持参しての参加でした。今回は半数以上の人が初心者で懸垂下降も始めてという若者が多かったみたいです。始めに初心者と経験者に別れて2時間位練習した後、全員で岩登りに挑戦しました。朝のうちに濡れていた岩も次第に乾き、初めての人も積極的に岩にしがみついています。私達も2人から3人一組になって、ビレーの取り方、確保の仕方、万が一の時にカラビナが一つあると良い事など、新しい事を教わりながらバリエーション豊かなルートに挑戦しました。初めてのパートナーに最初は少し遠慮もあったのですが、回を重ねる事に段々熱が入って、お互いを励ましたり、気合を入れあったりしての参加でした。悪戦苦闘の未達成出来た時の満足感。トップを行く人のルートと同じ様に行くのですが、私の手や足は短く届かない時の悔しさ！

それでも何とか克服出来た時の醍醐味は格別でした。一日私のパートナーを引き受けて下さった木村さん、本当に有難うございました。今回トライ出来なかった壁は次回挑戦する事にします。

阿部副会長を始めスタッフの方々のおかげで事故も無く無事終了する事が出来ました。本当に有難うございました。

◆松坂 良一

(日本山岳会越後支部)

6月22日、杉滝岩に於いて、例年実施している『岩登り講習会』が行われた。ゆきみ山の会、新発田山岳会、新潟山岳会、岐阜山岳会、新潟山岳会、長岡ハイキングクラブ、見附山岳会よりの参加者37名が約30本あるクライミングコースに分散して、熱心に受講をした。講師は、今回も又、杉滝岩の主ともいわれる熟練者の五十嵐博さんと、アルバイククライミングの経験豊富な阿部信一さんに御願いをした。役員の皆様は約10名、前日



講習会風景

しかった。中高年Bさん、『昔岩を登ったのだが、その頃の岩登りは大変危険だった。今は、良いクライミング用具が沢山あり、良い道具を正しく使えば安全に登れる事を教えてもらったので、自信が戻った。』

21日から泊り掛けで、コース整備、用具準備、講習の手合わせを行った。講習当日は梅雨入りの為、朝から雨が降ったが、開会式の8時ころには、運よく雨もあがった。全員をレベルに応じて2つに別け夫々を更に2班に別け、その夫々に講師及び講師助手を付けて、予定通り、午前の部午後の部とびつしり練習をし、午後3時には無事終了した。

受講生Aさん、『こんな岩場は、生まれて初めて登ってみた。始めは恐くてふるえたが、いろいろ教えてもらったから、4回目を登った頃には、スムーズに手足が動き大変楽しかった。』

## 海外・国内旅行、主催・手配



## ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第553号・IATA代理店 (株) 日本旅行業協会会員  
本社：新潟県長岡市南町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

- 長岡営業所 〒940-0084 長岡市南町1丁目3番5号 一統旅行業取締役主任 森 真樹 ☎ (0258)33-7123
- 新潟営業所 〒950-0918 新潟県米山3丁目2番11号 一統旅行業取締役主任 中島 豊 ☎ (025)246-2266

腰痛・肩こり・冷え・筋力低下

細菌衛生・さい帯血保管 等

総合健康医療器機販売

メディカル ユングフラウ

電話 090-3173-0540

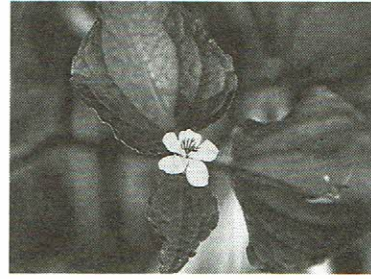


# 越後の山に見られる 変種植物

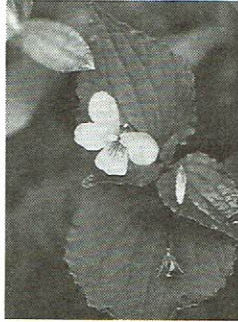
むささび会 加藤 明文

## ◆ スミレ属

### ②7 ナエバキスミレ



▲母種 オオバキスミレ  
八石山 5月8日



▶ナエバキスミレ  
蓬峠 5月23日

越後の谷川岳、苗場山や飯豊連峰に産する。変種名 V, Kishidai (キシダ) で人名。母種は県内始め日本海側に産するオオバキスミレで、母種との異点は茎。花柄、葉柄などが赤味を帯びる。また葉には光沢があり艶やか。春5月谷川連峰の稜線に良く見られる。母種は低山帯の植物であるが、高山に上がったタイプをミヤマキスミレ V, acuminata (先の尖った) と云い県内の高山にも産する。

## 計報

森田 健氏

ご逝去される

新潟山岳会前会長であり、新潟県山岳協会自然保護委員の森田 健氏が癌との闘病中であられたが8月19日朝逝去された。氏がオーナをされていた居酒屋「山小屋」に集まる岳人達に應對されていた、にこやかな笑顔が想い出される。心よりご冥福をお祈りします。

喪主は

ご夫人の森田由美子氏

通夜は

8月20日 19時

告別式は

21日 10時

新潟市中央区沼垂東1

― 8 ― 4

日の出会館 0251

24410048

## 二王子岳・蒜場山山頂に 標柱を担ぎあげる

下越山岳会会員たちが計画し念願の黒御影石の標柱を担ぎあげた。二王子岳・蒜場山の山頂へ、いずれも20名を越える会員達が苦勞して担ぎあげた。

◇下越山岳会会長

藤井三郎氏談

蒜場山、二王子

岳山頂に故 五十

嵐篤雄会長基金に

よる標柱が下越山

岳会各位の多大な

努力により、平成

20年6月に無事建

立いた

しました

た。こ

こに関

係者の

方々へ

感謝を

込めて

報告と

いたし

ます。



二王子岳山頂に建立設置された標柱



蒜場山山頂に建立設置された標柱





## 山から降りたら点検したい!

# マダニ

鈴木勝利 (新潟山岳会)

今回、八十里越から帰っての翌日、女房が右首筋に貼っていたカットパンをはがしたところ、直径1センチくらい赤く腫れており、真ん中に黒いとげが2本ほど見えた。以前にも聞いたことがあるのでダニだと直感する。頭が皮膚に深く食い込んでいてなかなか抜けない。何とか強引に抜いてみたところ、直径3ミリくらいある大きなダニだった。女房は翌日ダニを持って皮膚科に行き、手術で取り切れなかった頭の部分を取り除いた。自分もその日の夜、風呂に入る前に、念のため身体中を点検したところ、背中が同じように赤くなっているのを発見する。女房に見てもらったところ同じくダニらしい、とのことなので、抜いてもらおうとしましたが女房の爪ではなかなか抜けない。そこで、魚の骨抜きを使ってようやく抜くことが出来ました。翌朝同じ皮膚科にダニを持って行き診てもらったところ、やはり頭の一部が残っているとのことだったので手術で取り除いてもらう。先生は、ダニの種類はマダニで、綺麗に抜ければ良いが、先端が残っていると毒があり危険なので、できれば手術で取り除いたほうが良いとの所見である。今年の春で4例目だとのことで、「今年はマダニが余計発生しているのかな?」と言われておりました。自分達だけたまたま運が悪かったとも言い切れませんので、八十里越に参加した方は一度点検して見たほうが良いと思いますし、他の皆さんも、今後山から降りたらすぐに点検した方が良いと思います。飯豊・門内でも被害者を目撃しており、かゆみも痛みも無いので気が付きにくいです。マダニについての資料をインターネットから部分的に転写しましたので参考にしてください。

### マダニ

マダニというのは、節足動物門 鋏角亜門 クモ綱 ダニ目 マダニ亜目 マダニ科に属するダニの総称である。

#### ◆特徴

嗅覚が発達しており、哺乳類から発せられる酪酸の匂いに反応して、草の上などから生物の上に飛び降り、吸血行為を行う。その吸血行為によって、体は大きく膨れあがる。

#### ◆感染症法

ライム病 (Lyme disease、ライムボレリア症 (Lyme borreliosis))は、ノネズミヤシカ、野鳥などを保菌動物とし、マダニ科マダニ属 *Ixodes ricinus* 群のマダニに媒介される スピロヘータの一種、ボレリア Borreliaの感染によって引き起こされる 人獣共通感染症のひとつ。

#### ◆吸血されたときの対処 (ヒトの場合)

一度口器を差し込んだマダニは、吸血が終わるまで1~2週間程度は体から離れない。そこで無理にマダニを引き抜こうとすると、体液の逆流を招いたり、体内にマダニの頭部が残ってしまう可能性がある。細菌感染の恐れがあるため、マダニを発見したら出来るだけ早く皮膚科を受診したほうが良い。場合によっては、切開してマダニを除去するほかないが、それが一番確実である。また、マダニが体から自然に脱離した場合でも、マダニを捨てずに保存し、念のため皮膚科を受診する。皮膚科以外を受診すると、上記感染症の症状をインフルエンザなど風邪の症状と誤診される場合があり、大変危険である。

#### ◆マダニによる病気

マダニはさまざまな菌を媒介し、その最も多く見られた菌が「リケッチア」である。リケッチアは、「日本紅斑熱」を引き起こす病原菌である。この病気が起きるとかゆみのない発疹を引き起こす。この時点で病院に行っていれば最悪の状況はまぬがれる。その数日後に発熱を引き起こす。放っていると高熱を発生し、そのまま倒れてしまう。病院ではキャンプやハイキングなどに行っただけとっておく。そうすると医師の診断が染になる。治療は点滴と抗生物質の投与が効果的である。

## 登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス

 **ICI 石井スポーツ**  
新潟店

新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134(特)  
営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

## 登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー

  
Mountain & Outdoor  
**Parr Mark**

**パーマーク**  
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)  
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164  
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>



## 第11回 新潟クライミングカップ開催要項

- 1 主催 新潟県山岳協会  
 2 主管 新潟県山岳協会競技委員会  
 3 後援 国際アウトドア専門学校  
 4 期日 11月9日(日)  
 5 受付 8:20~8:40  
 6 開会式 8:40~9:00  
 7 競技開始 9:00~  
 8 会場 国際アウトドア専門学校  
 〒949-2219 新潟県妙高市原通70 TEL 0255-82-4450
- 9 種別  
 1 小学生の部 男子・女子  
 2 ミドルの部(5,11以下) 男子・女子  
 3 オープンの部 男子・女子  
 4 シニアの部(男50才・女40才以上) 男子・女子
- 10 競技規則 オンサイト・リード方式(小学生の部はトップロープ)  
 11 競技方法  
 1 1本目(予選) 上位数名が2本目の決勝に進出  
 2 2本目(決勝) 順位を決定  
 ※ 但し、参加人数によっては変更も有り
- 12 参加資格 リードクライミングのできる人(小学生の部を除く)  
 13 参加費 2,000円 中学生以下 1,000円  
 14 申込方法 申込書に記入し、申込先まで郵送又は持参 10月25日必着  
 15 申込先 〒949-3241 新潟県上越市柿崎百木1023 稲田春男  
 (問合先) 電話 090-3131-3703  
 ※募集要項、参加申込は新潟県山岳協会ホームページからも取得可。  
[Http://WWW.echigo.jp/~nma/](http://WWW.echigo.jp/~nma/)
- 16 参加上の注意  
 1 小学生、シニアの方でも2,3のクラスに出場可能です。(一人、1種目)  
 2 参加費は当日受付でお支払い下さい。  
 3 参加費には保険料は含まれていません。  
 4 宿泊施設ご希望の方は、直接民間施設にお申込下さい。

### 編集こうき

▲局地的な集中豪雨の被害が各地で起きているのは世界的な傾向なのだろうか。何れも少なからず貴重な人命が失われ、また将来立ち上がれないほどの財産の流失や精神的な打撃などを受けられた方々にたいしては言葉も出ない。

白馬岳大雪渓での崩落事故も耳新しく痛ましい。長岡工専の山岳部顧問の佐藤教授も同地域で行方不明とか、なんとか無事だと祈るばかりだ。

▲県山協行事のP5656m遠征中も悪天に悩まされた。樹木も草も無い高山では突然の豪雨はあつという間の短時間で河は濁流となり、ルート間の斜面は奔流となる。崩落する規模の大きさと速さは今考えても肌身が栗立つ。二次隊の登頂断念との判断は本当に勇気ある撤退だった。

▲予備日数もギリギリつかって一種の虚脱状態の食堂用テントのそばを羊の群れが移動してゆく。雨に濡れながら僅かな草地を求めての鳴き声と鈴の音が妙に哀れさを感じさせる。

テーブル代わりにしたブリキ箱の上のヒマワリの種もなかなか上手に食べられない。モゴモゴ、プット、いうわけにはいかないが、たまに粒のしつかりした香ばしいのにあたるを得をした気分になる。日本にきて絶対モテそうないケメンで設営スタッフの旦那君が私達の不器用さを見て笑っていた。会報編集 浅野

JTB Your Global Lifestyle Partner

70th Anniversary 1942-2012

JTB関東 法人営業新潟支店

新潟市中央区古町通6-976

TEL:025-224-2201 FAX:025-229-5775

<http://www.jtb.co.jp/shop/houjinniigata/>

※“旅”の最新情報、ご覧になれます。

E-mail:h\_mitani388@jtb.jp

